

## 第21期第11回常任理事会議事録

日時 昭和56年6月27日(土) 9.45~12.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 小平, 浅井, 荒井, 内田, 河村, 黒木, 竹内,  
二宮, 増田, 村山

## 報告

[庶務]

1. 6月8日, 日本学術会議第5部長八十島義之助氏から, 日本学術会議第12期研究連絡委員会等の発足に伴う委員候補者の推薦依頼がきた(耐風構造分科会C委員1名).
2. 6月12日, 「女性科学者に明るい未来をの会」会長 湯浅明氏から, 1982年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の受賞候補者の推薦依頼がきた(締切11月末日).
3. 6月12日, 文部省学術国際局長 松浦泰次郎氏から, 昭和56年度科学研究費補助金研究成果刊行費の交付内定について通知がきた(内定額256万円, 前年度240万円).
4. 6月19日, (社)日本化学会会長齋藤信房氏から, 昭和56年度化学技術賞受賞候補者の推薦について依頼がきた(締切8月末日).

[会計] 昭和55年度の税務署への申告を税理士に見てもらって提出したが, 確定申告額は約92万円である.

[気象集誌] Vol.59-3号は間もなく配布になる. 100周年記念特別号への投稿論文はぼつぼつきている.

[講演企画] 春季大会も無事終了したが時間の制約を余儀なくされた. なお, 座長をされた山下洋会員から, スライド(8枚)の枚数が守られていない, オーバーヘッドプロジェクターの枚数の多い人がいて, 自分で操作するため時間が余計にかかるなどの問題点が提出された.

[教育と普及] 夏季大学「新しい気象学」の開講準備は順調に進んでいる. 「科学朝日」に, 分りやすいものを連載してもらおうよう交渉している.

[長期計画] 今まで3回委員会を開き, 2つのグループに分れ検討することになった. すなわち

1. 気象学長期計画(経過と評価)  
(廣田勇, 近藤洋輝, 武田喬男, 片山昭,  
内田英治, 松本誠一)

2. 応用気象(気象学応用分野)の展望

(近藤純正, 木村竜治, 内田英治)

## 議題

1. 日本学術会議第12期研究連絡委員会等の発足に伴う委員候補者の推薦について(耐風構造分科会C委員)

気象研究所物理気象研究部の花房龍男会員を推薦したい.

2. 1982年 Tropical Meteorology の日取りについて  
秋の学会との関連があり, 早い時期に決めて欲しいとのことで秋の学会の前後の日取りについて検討したところ, 10月18日からを第1案, 11月8日からを第2案として, 来年秋は札幌が当番であるため札幌へ連絡する.

## 3. 100周年記念事業

- (1) 記念式典の会場は, 気象庁講堂の使用に不安があるので他の会場を確保する. また当番である気象大学校では, 春の大会場として日本教育会館を希望しているので当てる.
- (2) シンボルマークについて  
機関誌に広告して募集する. 賞金を考慮する.
- (3) 記念スタンプについて
- (4) 郵便計数器による宣伝について

以上2件については, 機関誌送付の封筒に刻印できないため, 取り止めることになった.

## 4. その他

- (1) 100年史について  
75年史の複製はしない. 配布の範囲については検討する.
- (2) 「日本の大学における気象学関係の専攻コース等についての英文パンフレット」について

長期計画委員会委員長 武田喬男氏から, 外国人(特にアジア)で, 日本の大学で気象学およびその関係について勉強あるいは研究を希望する人が増えてきているので, その人達のために英文パンフレットを用意しておくことが気象学会としても望ましいのではないかと提案があり討論した結果, 気象学会としては筋が違うということ, 内田理事から伝えてもらうことになった.

承認事項 近藤幸治ほか13名の新入会員を承認.